しがしかわ 写真の町

議会だより

タイ国ポンテープ副首相来町

第３回定例会開催……2
第４回臨時会開催……3
平成24年度歳入歳出決算……4～5
ここが聞きたい、一般質問に４議員が登壇……6～9
議案質疑・議案審議結果……10～11
議会日誌・編集後記……12

No.159
平成25年11月１日発行
発行：東川町議会
編集：議会報編集特別委員会
〒071-1492 北海道上川郡東川町東町１丁目
☎0166-82-2111

第３回　定例会を開催

- 第３回定例会を、平成25年９月17日から19日まで３日間開催しました。
- ４名の議員が、８項目の一般質問をしました。
- 平成24年度一般会計・４特別会計の歳入歳出決算、東川土地開発基金運用状況審査につて説明があり、川島監査委員より決算審査報告がありました。
- 平成25年度一般会計補正予算案、各種条例予算案、諮問、報告など21件について審議し、原案可決または報告済としました。
- 教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦に同意しました。

平成25年度　補正予算

●一般会計

一般会計補正予算額を約１億３６７１万円増額し、総額は約58億８６５万円です。

増額の主なものは、次の通りです。

①非常用発電設備設置事業　（３１００万円）

第一・第二小学校・中学校が災害時避難所のため発電機を整備する工事請負費及び調査設計委託料です。

②次世代まちづくり連携事業　（４００万円）

農協青年部や商工青年部、農協職員や役場職員等の研修や連携のための交流を進める補助金です。

③「写真の町」ひがしかわ株主事業　（４５０万円）

多くの方より株主の申し込みがあり、土産等にかかる費用です。

東川中学校

④老人保健センター管理事業　（約１５３万円）

耐久性の高い陶芸用の電気窯の更新費用です。

⑤天人峡温泉イメージアップ対策事業　（５００万円）

５月の羽衣の滝付近の崩落により園路が不通となり、今シーズンは開通が見込めないため、天人峡各ホテルから営業損失が出ており、宿泊者に町の特産品をプレゼントする費用や新聞広告料です。

⑥南町２丁目駐車場事業　（約１３７２万円）

寄贈を受けた土地に隣接する用地を取得し、駐車場を整備します。

⑦公園維持管理事業　（６７万円）

天人峡温泉から旭岳源水公園につながる道道の分岐点看板の新設、大雪遊水公園内の案内看板を修理します。

⑧中心市街地活性化事業　（１３００万円）

東川小学校移転後の活性化施設として活用する場合の耐震診断委託料です。

⑨中学校教育振興事業　（２７０万円）

ラトビア共和国のピアニストと中学校吹奏学部が東京都のサントリーホールで共演するための派遣費用、その他教育視察研修事業に１５０万円の財源を振替えます。

⑩公共施設整備基金　（約１５８６万円）

⑪土地開発基金事業　（約９１４万円）

⑩・⑪は、東町２丁目町有地の売払い収入２５００万円を積み立てます。

⑫広域入所保育事業　（約１０３万円）

本町在住予定者で旭川市内の保育所に２名を預ける委託料です。

●人事案件に同意

教育委員会委員に、高木正晴氏、及川めぐみ氏の任命に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員に、八木隆司氏の選任に同意しました。

人権擁護委員に、馬場猛氏の推薦に同意しました。

定例会

町長行政報告

天人峡温泉の崩落事故を報告します。

平成25年5月10日の調査で確認した天人峡「羽衣の滝」付近の崩落事故について、9月11日に上川振興局　山本局長が来町され最終的な報告がありました。

森林管理署と対応を検討していますが、崩落部分の手当ての目途が立っていなく、自然災害時の遊歩道の責任体制が明確でないこともあり、鋭意検討中ですが、今年度中の利用は困難という見解が示されました。

なお、森林管理署では専門家に現地調査を依頼していますが、時間を要する状況です。

天人峡温泉地区は、これから紅葉シーズンを迎えることから、観光に大きなダメージとなります。

行政としても出来る限り支援をすべきと考え、遊歩道が開通しないということを新聞でお知らせしたり、滝が鑑賞できないことに代わる措置が必要と考えています。

北海道に対し、各ホテルで羽衣の滝のビデオライブ映像を流してほしいという要望をしています。

また、費用については、町が行うものに対して北海道に応分の負担をして頂くよう要請をしています。

崩落地図

羽衣の滝

第4回臨時会

（8月21日）

一般会計補正は、52５万円を増額し、総額は56億7193万円です。

①企画政策推進事業（525万円）

自然エネルギーの地中熱を利用するための採熱調査委託料です。

国際交流会館予定地で50mを2本、キトウシ森林公園家族旅行村で50mを1本の委託料です。

請負契約

B&G海洋センター大規模改修工事請負契約（約1億1813万円）

専決処分

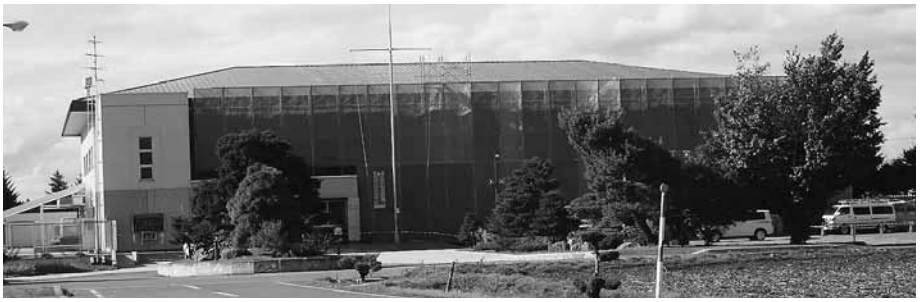
町道西3号道路改良工事発注後に、店舗部分が道路用地にはみ出しが判明、撤去して再構築費用を補償します。（810万円）

全員協議会

（8月21日）

①地域の元気臨時交付金について

②町有地の取得について


B&G海洋センター

総額約78億円の決算を認定

9月17日、平成24年度一般会計他4特別会計決算について、合田副町長による決算関連報告の後、川島代表監査委員の監査報告がありました。

18日、19日午前迄を休会とし、2常任委員会に分かれ、所管の各課から議案調査を行いました。

19日午後より本会議を再開し、平成24年度各会計の決算を原案の通り全会一致で認定しました。

一般会計

当初予算54億700万円で始まり、その後9回の補正を重ね約42億5280万円および前年度からの繰越明許費約14億7686万円を加え、最終予算額は約111億3670万円になりました。

歳入約78億3246万円に対し、歳出約76億6059万円を差し引いた形式収支約1億7187万円で、実質単年度収支額は約6325万円です。

決算額を前年度と比較すると、歳入では約22億3376万円増で前年度比139.9%、歳出では約21億7231万円増で139.6%になりました。

歳入決算は、前年度決算額との比較で増加した主なものは、地方交付税約1億611万円、分担金・負担金・寄付金約1億865万円、国・道支出金約2億7880万円、町債約12億2200万円、その他約4億9892万円でした。

歳出決算は、前年度決算額約54億8828万円との比較では、約21億7231万円の増、土木費・教育費・諸支出金が主なものです。

4特別会計

○国民健康保険会計は、大雪地区広域連合に移行前の滞納分約79万円であり、収納率は4.5%です。

○簡易水道事業会計は、忠別ダム完成後の上水道施設分の債務返還会計で、一般会計からの約3850万円を繰り入れました。

○公共下水道会計は、平成12年から旭川広域圏下水道への負担金支払い、下水道整備の会計です。

使用料は約1億円、一般会計から約3100万円を繰り入れしました。

○町立診療所会計は、診療収入約1億8390万円、一般会計から約1億2120万円を繰り入れました。

土地開発基金運用状況審査意見書

平成25年7月17日審査に付され、審査の結果、係数は正確であり、運用は設置目的に沿って正規な手続きに従って行われたと認めました。

基金残高約1億8900万円、土地残高約6600万円です。

監査委員の意見

川島監査委員

平成24年度決算では、東川町開拓史上最大規模の大型事業である「東川小学校等建設事業」が今年度から始まり、さらには、東日本大震災からの復興あるいは、経済再生のための国の大型補正予算の積極的な活用により、繰越明許費を加えた最終予算規模が110億円超える異例の大型予算となり、決算においても78億円を超え、過去最大規模になりました。

主要財政指数においては、交付税措置のある有利な起債の活用などにより、急激な財政悪化に転じるような大幅な変動は見られず、将来負担に備えた基金への積み立てを行うなど健全財政のための努力もされています。

一方、数年前と比較すると扶助費・物件費・補助費等が年々増化傾向にあります。

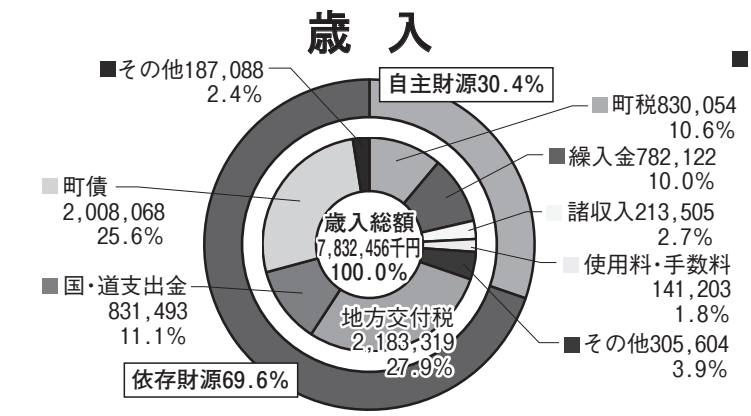
これら個々の支出に対しては、金額の多寡に関わらずその必要性・妥当性・効果等について、住民福祉の向上に照らした検証を常に行うとともに、経費節減意識を一層高めていく必要があります。

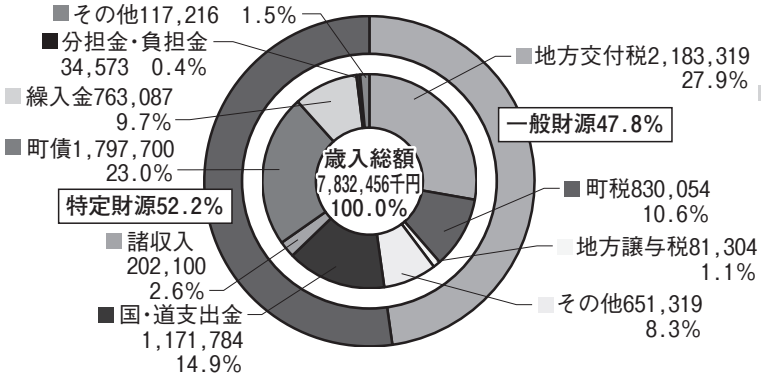
今後も、大型事業の実施や借入金の償還開始などにより、脆弱な財政状況は依然として続いていくことから、将来を見据えた健全な財政運営に十分配慮されることを望みます。

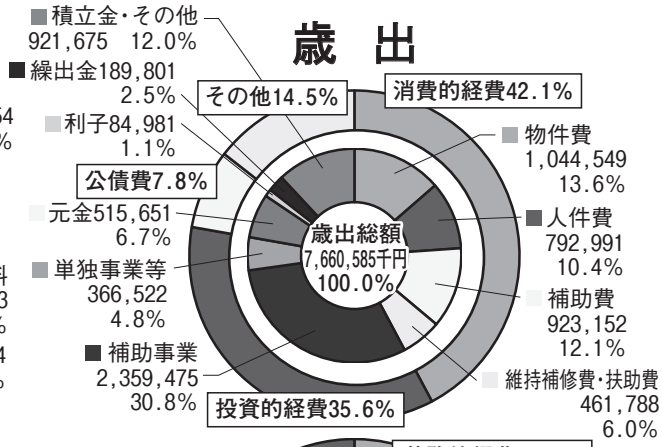
表1 一般会計・特別会計歳入歳出決算の状況

（単位：千円）

会計別	歳入	歳出	残高
1．一般会計	7,832,456	7,660,585	171,871
2．国民健康保険特別会計	60	35	25
3．簡易水道事業特別会計	38,900	38,689	211
4．公共下水道事業特別会計	195,184	189,632	5,552
5．町立診療所特別会計	339,494	324,510	14,984
合計	8,406,094	8,213,451	192,643
前年度	6,179,784	6,039,225	140,559
比較増減額	2,226,310	2,174,226	52,084







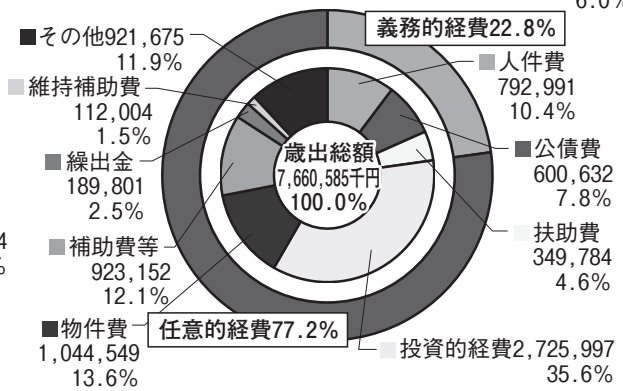


表2 自主財源の年度別比較

（単位：千円・%）

区分＼年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
町税	846,872	852,666	847,237	811,726	830,054
分担金及び負担金	24,898	31,845	28,587	32,271	36,434
使用料及び手数料	139,482	142,266	145,499	140,461	141,203
財産収入	44,367	32,237	40,629	29,046	40,605
寄附金	13,501	41,524	9,132	13,655	118,145
繰入金	24,563	65,813	79,334	222,496	782,122
繰越金	125,324	108,592	104,362	174,074	110,420
諸収入	179,075	187,739	205,448	210,556	213,505
計	29.97	30.26	23.30	29.19	29.01
	1,398,082	1,462,682	1,460,228	1,634,285	2,272,488
不動産売払収入を除いた計	29.71	30.20	23.17	29.19	28.81
	1,385,939	1,459,693	1,452,282	1,634,017	2,256,592
歳入決算額	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	4,664,630	4,834,075	6,268,050	5,598,698	7,832,456

ここが聞きたい一般質問

（４議員が登壇）

問 「日本語研修生」受け入れは
答 短期は町・長期は北工学園

鶴間　松彦

（一問一答方式）

質問　タイの副首相が来町され、国費留学生を派遣するとのことですが、日本語学科を取得した北工学園で受け入れるのか、町で行うのか、どのような形で受け入れますか。

町長　３か月未満のものについては町が中心となり、１年以上は北工学園が進める整理をしています。

タイから早速連絡が来て、夏休みの３月から５月に70名を派遣したいと連絡がありました。北工学園とも連携しながら受け入れる予定です。

今後は、短期の研修を受けて、さらに日本語について学習をしたいという方々は北工学園で学び、日本の大学へ進むというルートを考えています。

質問　受講料・寮費・滞在費等について伺います。

町長　北工学園の授業料は年間60万円、寮費約５万円と聞いています。

町でおこなう１カ月コースは、寮費・授業料１０３０００円、18才以下（高校生・中学生）の場合８３０００円です。

質問　寮に入る学生に対して町の補助を出していますか。

平成24年度には寮の方にいくら支払われましたか。

町長　寮の方に直接払ってはいません。北工学園に対する支援として、平成24年からは外国人の方に振替え支援しています。

質問　東アジア地域交流促進協議会の「その他報償」２５１５千円の支出は、中国の学生に対して飛行機代を補助したと聞いています。

他の国に対してはありませんか。今後もしていくことになりますか。

町長　募集段階で、いろいろ言葉のやり取り行き違いがありました。今回に限り、半分は北工学園、半分は町が支援しますが、今後は行き違いのないようにします。

質問　外国人留学生支援事業ということで平成24年度は約２６００万円、25年度予算では２９００万円になっています。約３００万円増えた内容は何ですか。

また、特別な事業を考えていますか。

町長　去年と今年の比較で約３００万円増えている訳は、日本語を教える講師の育成講座費用で、一人受講するのに30数万円かかります。

質問　講師陣の体制・報酬について伺います。

町長　現行の体制では高齢者の方・学校の校長先生・教員を退職された方が中心になって進めてくれています。

学生を確保しながら、そして、働く機会として、また、参画をしていただく機会をつくりながら、報酬をしっかり払えるような体制づくりに努力していきます。

質問　国際交流会館の建設は、いつ頃又はどんな計画で建てられますか。宿舎は、間に合いますか。

町長　今年度中、来年の３月までに工事発注したいと思います。

夏場に短期が重なりますが、万が一入れなかった場合は、町内にある宿泊施設やホットハート等も使い対応に努めます。

問 ピロリ菌検診及び除菌の実施は
答 受診の動向を見て検討

質問　ヘリコバクター・ピロリ菌の検診（胃がんに対する検診）を町の診療所を含めて検診制度に入れてはどうですか。

町長　町が実施するということになると負担が伴いますし、受診の動向なども見ながら十分検討します。

一般質問

質問　厳冬期を迎え、特に高齢者の方々、低所得の方々に福祉灯油の支給をしてはいかがですか。

町長　北海道の補助金を利活用しながら、家計を補えるような応援のしかたを検討します。

質問　福祉給付金の支給を検討してはいかがですか。

町長　世帯の収入というものを十分把握しながら考えます。

問　防災無線の活用は

答　各自治振興会行と連携し万が一に備えたい

薦田　敏次

質問　本年5月14日に防災無線で西8号に熊が出没し注意喚起の放送があった際、町民から、良く聞き取れなかったと聞きましたが、どのように修正されましたか。

防災無線は、双方向に連絡が取れることになっていますが、運用、訓練はどう行うのか伺います。

町長　施工業者を交え音量の調整やデジタルでの拡声器を優先する等、調整を終わらせています。

放送は、ことばの速度の影響があり、適切な速度により今後放送を行います。

デジタル防災無線の運用等は、町内にある17基の外部無線電話により相互の連絡が出来る状態にありますが、各振興会とも十分連携しながら、万が一に備えて行きます。

再質問　防災無線子機の使用について、次に上げる4点について伺います。

①各子機を扱う人数は。

②扱う人の範囲は。

③鍵は誰が持ち、何本位配布するのか。

④取扱いの訓練は。

企画総務課長　①各自治振興会で扱う人を決めてもらいます。

②コミセンの場合は、管理する方、災害時は、各振興会役員の方になると思いますが、扱う人は、今後十分検討します。

③鍵は、各施設に1個ありますが、必要人数分を今後用意します。

④6月13日に17基の機械について業者と役場の間で試験をしました。

スピーカーの向きが違い、反響しあって非常に聞きづらい状況にありましたが、現在は解消しています。

8月に入り、第一・第二自治振興会で無線機の説明をし、両自治振興会と役場の間で試験を済ませていますので、使用は問題ありません。

問　開拓120周年記念行事は

答　祝賀会は考えていないが記録編纂を行う

質問　来年は、開拓120周年ですが、現在考えている記念行事等の内容を伺います。

町長　特別な祝賀会は今のところ考えていませんが、大雪山国立公園80周年、写真の町宣言30年など様々な節目と重複しますので、「東川町開拓120年」の表示や冠をかけるなどし、一つの通過点としての意識を共有したいと思います。

ハード事業は、記念モニュメントを含む東川小学校等の移転改築、図書館設置へのスタート、移転後の東川小学校跡地の利用など、節目を繋ぐ事業として実現に努めます。

ソフト事業は、開拓3世紀に向けて写真文化首都宣言への各種取り組み、開拓100年以降の町の歴史の取りまとめ、ふるさとの山、大雪山の資料収集と記録集編纂にも努めます。

防災無線子局

一般質問

問 東川の義務教育は
答 三本柱にそって努力

安原　芳博

（一問一答方式）

質問

全国学力調査が8月28日の朝刊1面に、「学力地域差改善の傾向、全国正答率底上げ進む」と掲載されました。

東川独自の解析調査について伺います。

教育長

上川管内の子どもたちの学力は支庁別では1・2を争う位置にあり、本町の子どもたちの学力のレベルは、管内でも上位にいます。

小学校は国語A・B、算数A・Bの4科目とも全国平均を大幅に上回る好結果で、中学校は、数学A問題では全国との差を縮めるなど、基礎基本を徹底指導した結果が表れています。

教育行政執行方針で、学力向上対策の推進は、3つの柱の1つです。

質問

今年実践された移動親子の読書会、英語キャンプと通学合宿について伺います。

教育長

学社連携を有効に進めるためには、町民の力と支援が必要です。

今年度から始まった移動朗読会は月に1回程度様々な会場で行いました。

町内に住む竹田津実先生や絵本作家のあべひろし先生、関東学院大学の伊藤玄二郎先生などの著名人に講演をいただき、町内の読み聞かせ会のピッピの会、ポッケの会が中心となって実施しています。

通学合宿は、「ひがしかわ二小っ子スクール」を第二小学校で実施し、第1期が3泊4日、第2期は2泊3日の日程で行いました。

集団生活の中で、望ましい生活習慣や学習習慣の定着を目的に実施し成果を上げています。

英語キャンプは、秋から冬にかけて計画しています。

参加した生徒に宿泊期間中、日本語を全く使わず、外国語や他の文化に接することにより、国際社会で活躍できるようなそんな人材を作っていきたいと考えています。

質問

学校の先生の勤務時間は、OECD諸国の平均を上回り、教育費にかける税の投入は下位でした。日本は全体の学力が低下しているわけではなく、中以下の層が肥大化し、学力水準が低下しているという調査結果があります。

落ちこぼれ対策も大事な教育です。

東川の習熟度別指導の考えを伺います。

教育長

北海道教育委員会は、25％以下のラインの子どもたちをいかに底上げしていくかに力点を置いています。

町も落ちこぼれの子供たちをつくらないための努力をしています。

習熟度別ですが、小学校においてはTT（チームティーチング）が指導効果を上げています。

中学校は、1・2年生対象に数学・理科・英語の3教科をTTで行い、3年生は、数学・英語を中心に行っています。

指導方法工夫改善加配で小学校1名、中学校1名の教員を配置しています。

また、町単費で、英語のエキスパートの先生も配置しています。

質問

地域交流センターの有効活用について伺います。

教育長

放課後子ども教室と学童保育が同じ場所を利用します。

学社連携事業を推進するNPO法人等が入って、周りのフィールドを使って社会体験学習や、土曜日曜などの休日の図書館受付業務、地域のたまり場でのコンサート開催や読み聞かせ事業の実施、多目的ホールでの卓球やミニバレーなど軽スポーツの開放事業など、有効に活用します。

建設中の東川小学校

一般質問

問 中央自治振興会の再編成と振興会連合を

答 振興会組織で議論

藤原　啓子

質問

「地域自治振興会が中心となった地域コミュニティの推進を図ること」を基本的な考え方とし、行政区の見直しを進めています。

中央自治振興会を除く4自治振興会は、コミセンも整備され地域コミュニティの役割を担う基盤ができていると思います。

中央自治振興会は発足当初から分割が必要とされたまま、未だに具体的な案も示されていない中で、行政区の再編は、基盤になる当該自治振興会の再編とともにすべきと思います。

また、各自治振興会が連携し、情報交換や共同の活動などができる「振興会連合」のような組織も必要と思いますがいかがですか。

町長

現在、行政区の再編について関係自治振興会と協議を進めていますが、この中には中央自治振興会区域における再編は入っていません。しかし自主的に町内会の意向によって再編するものを否定はしません。

中央自治振興会の具体的な分割計画については、行政が具体案を最初から示すのではなく、振興会組織の中で、十分に議論を尽くした上で具体的なものをつくり上げることが良いと考えます。

自治振興会連合会の件については、現在も自治振興会自らの動きによって情報交換が行われています。また、自治振興会の定期的な会議も役場のみでなく、各地域コミュニティセンター輪番で行うように提案しています。組織の上にさらに組織を重ねることは現在のところ必要性を見出せていません。

ただし各自治振興会の協議により必要性を見出したものを否定するものではありません。

再質問

中央自治振興会の分割再編成は今の行政区再編成の検討に先行すべきではないですか。

発足時から分割の必要性を認識していながら中央自治振興会一つではあまりにも大きすぎて思うように活動ができなく、町の施設を利用するにも制約が多いため大変不便を感じています。

中央自治振興会の再編成の検討とコミセンの必要性について、町はどう考えていますか。

自治振興連合会は今のところ必要でないが、自治振興会が必要であれば否定しないと答弁されましたが、効率的な自治振興会運営を行うためにも必要と思いますがいかがですか。

町長

あまりにも大きすぎて思うように活動ができない、また、コミセンがないので制約が多すぎて不便であると理由に挙げていますが、中央自治振興会の方から私は聞いていません。どのような不便があるかどのような制約があるか自治振興会の皆さんにも提案いただければ、改善できるところは改善していきます。

中央自治振興会の再編成を早急にとのことですが、我々が案を出すのでなく自ら考えて、ここにコミセンが必要。というようなものを提案いただければ、私共も一緒に検討・協議します。

自治振興会連合会のことですが、年に3回ほど副町長も入って情報交換の会議を行っているので問題があるとすれば出していただきたい。

再々質問

中央自治振興会活動に対してどのような不便・制約があるのかとのことですが、昨年度そして一昨年度と研修旅行を開催しましたが、応募が多すぎて町のバス一台では乗りきれず急きょレンタカーで対応しました。

分割が必要であるかないかも含めて、是非早急に検討していただき、行政区の編成をやりやすくしていただきたい。

町長

中央自治振興会の問題点を出していただきましたけれども、私共に申し出ていただければ解決できる事があると思います。

一緒に中央自治振興会の皆さんと考えるということを否定するものではありません。

中央地区敬老会

第3回定例会の主な質疑
（平成25年9月17～19日）

一般会計補正予算

質問（長峰毅八）　小学校の跡地の利用計画はどうなっていますか。

答弁（都市建設課長）　8月26日に中心市街地活性化協議会を立ち上げ、検討を始めています。

大雪消防組合を組織する地方公共団体数の増加及び大雪消防組合規約の変更について

質問（由川英二）　3町、当麻、比布、愛別町の消防が大雪の方に入ってきますが、その経緯を伺います。

答弁（松岡町長）　当初、8町のうち、私共3町は大雪消防組合、残り5町は上川町に本部を置いて5町で一部事務組合を作っていたということであり、その一部事務組合が解散をするという時に、どういう体制にしたら良いか検討をしたようです。結果、2町は旭川市と組み、残り3町は従来の形、本部はあるけれどもそれぞれの消防団等はその町の意向に沿って動く方式を維持したいということで、3町は私共の方に入ってきた訳です。負担については軽減されるということで、運営についても今までと何ら変わることはありません。

質問（長峰毅八）　経費の負担はどのように変わりますか。

答弁（松岡町長）　経費は五分の一となり、負担が減るということです。

（平成25年８月21日）

議　決　の　内　容	結　果
・5,250千円を追加し、総額5,671,934千円とする	原案可決
・東川町一般会計補正予算（第５号）について専決処分した報告 2,244千円を追加し、総額5,666,684千円とする	原案承認
・東川町Ｂ＆Ｇ海洋センター大規模改修工事請負契約（契約金額118,125千円）	原案可決

（平成25年９月17～19日）

議　決　の　内　容	結　果
・原案のとおり認定	原案認定
・　〃	〃
・　〃	〃
・　〃	〃
・　〃	〃
・136,712千円を追加し、総額5,808,646千円とする	原案可決
・5,126千円を追加し、総額168,826千円とする	〃
・2,960千円を追加し、総額356,260千円とする	〃
・善行表彰、自治功労表彰、一般功労表彰を受賞していなくても、特別功労表彰を行うことができるように改正	原案可決
・株主制度の事業に対する寄付金と一般寄付を明確に区分することなどの改正	〃
・企業立地促進法に基づく計画承認を受けた事業所に対し、支援の拡充を行い、さらに企業誘致を進めるための改正	〃
・任期満了に伴う八木隆司氏の選任（再任）	原案同意
・任期満了に伴う高木正晴氏、及川めぐみ氏の任命（再任）	〃
・任期満了に伴う馬場　猛氏の推薦（再任）	適　任
・住民基本台帳法の一部改正（外国人登録制度の廃止）に伴う改正	原案可決
・大雪消防組合に新たに当麻町・比布町・愛別町が加入することに伴う変更	〃
・地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づく報告	報告済
・総務文教、産業建設、議会運営の各委員長からの申し出	承　認
・上川管内町村議会議員研修会へ議員を派遣	〃

第4回臨時議会（平成25年8月21日）

一般会計補正予算

質問（正満正義）　西3号道路改良事業の補償金について、設計時などもっと早い段階でわからなかったのか伺います。

答弁（都市建設課長）　当初の図面上でギリギリの線で、そのまま工事を進めたという状況です。

しっかり用地を確認して事業を進めればこのようなことが無かったと反省しています。

質問（長峰毅八）　除排雪対策の備品購入の八百万円は不要だったのですか。

答弁（都市建設課長）　これは、入札の執行残です。

質問（高橋昭典）　B&Gの改修にあたって、財団の方から支援が受けられなくなったが、今後も町単独の改修となるのか伺います。

答弁（教育課長）　B&G財団の補助は、過去にアリーナの改修が一度あり二千万円近く頂きました。今回は補助から外れましたが、年数が経過していった段階では補助申請をして対象となる可能性もあると考えています。

再質問（高橋昭典）　順番待ちになっている施設が全国にある中で、長期的な計画が必要ではありませんか。

答弁（教育課長）　東日本大震災の影響で、全国のB&G財団への補助申請が平年の倍近くなり、東北地方を優先したという経緯があって、補助が付きませんでした。今後計画的に対応しながら、有利な補助がもらえるよう進めていきます。

第４回臨時会の議案審議結果

区　分	議　件　名
補正予算	平成25年度 東川町一般会計補正予算（第６号）について
その他案件	専決処分の承認を求めることについて 東川町Ｂ＆Ｇ海洋センター大規模改修工事請負契約について

第３回定例会の議案審議結果

区　分	議　件　名
決算認定	平成24年度 東川町一般会計歳入歳出決算認定について 平成24年度 東川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 平成24年度 東川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 平成24年度 東川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 平成24年度 国民健康保険東川町立診療所特別会計歳入歳出決算認定について
補正予算	平成25年度 東川町一般会計補正予算（第７号）について 平成25年度 東川町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）について 平成25年度 国民健康保険東川町立診療所特別会計補正予算（第１号）について
条例等	東川町表彰条例の一部を改正する条例の制定について 「写真の町」ひがしかわ株主条例の一部を改正する条例の制定について 東川町産業振興支援条例の一部を改正する条例の制定について
人事案件	東川町固定資産評価審査委員会 委員の選任について 東川町教育委員会 委員の任命について 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
その他案件	北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約の制定について 大雪消防組合を組織する地方公共団体数の増加及び大雪消防組合規約の変更について
報　告	平成24年度 東川町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について
その他	閉会中の所管事務等の調査の申し出 議員派遣について

議会日誌

平成25年８月

１日　無縁墓碑慰霊祭（西８号墓地）
３－４日　大雪山忠別湖トライアスロンinひがしかわ　開会式・閉会式
６日　写真甲子園2013（９日まで）
７日　千葉県佐倉市議会行政視察（株主制度・新婚姻届・写真の町他）
10-11日　写真の町東川賞授賞式、どんとこい祭り
13日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
20日　全道広報研修会（札幌市）
21日　第４回臨時会
第６回全員協議会
東川小学校等建設現場視察（全議員）
上川町村議会議長会緊急役員会（旭川市）
22日　秋田県議会行政視察（写真の町）
３町議会議員交流会（当番：東川町）
23日　上川中央部議会議長会定例会（愛別町）
28日　家畜感謝祭
30日　北海道神宮神饌田抜穂祭

北海道神宮神饌田抜穂祭

大雪清流てっぺんまつり

９月

１日　大雪清流てっぺんまつり
３日　第３回定例会前各常任委員会
東京都豊島区議会行政視察（幼保一元化・君の椅子）
５－８日　韓国長水郡訪問
10日　議会運営委員会
11日　上川町村議会議長会役員会（旭川市）
13日　例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
17-19日　第３回定例会
20日　秋の交通安全祈願祭

10月

３日　議会報編集特別委員会
８日　香川県さぬき市議会行政視察（株主制度・定住対策）
埼玉県本庄市議会行政視察（株主制度・新婚姻届他）
９日　東京都羽村市議会行政視察（株主制度）
11日　議会報編集特別委員会
16日　第５回臨時会
例月公金出納検査（東川町・大雪地区広域連合）
鳥取県大山町議会行政視察（株主制度・君の椅子・記念写真）
18日　議会報編集特別委員会
22日　上川町村議会議長会研修会（上川町）
23日　雄武町議会行政視察（特養・老健・診療所）
24日　愛知県西尾市議会行政視察（株主制度）
30日　秩父別町議会行政視察（移住定住）
上川管内議会議員研修会（旭川市）
31日　幕別町議会行政視察（幼保一元化・君の椅子・子育て支援）

秋の交通安全祈願祭

編集後記

今年は、７大学61名によるインターシップが行われた▼滋賀県立大学印南ゼミは、人々の暮らしの中の身近な魅力や価値を発見▼江戸川大学鈴木ゼミは、町の自然・文化・人を探り「移住したくなる町・東川町」をテーマにデザイン写真帳を作成発表▼青山学院大学新見ゼミは、今より多くの人に町を知ってもらい居住してもらうことを目標にまちづくりの提案▼千葉大学学院池邊ゼミは、ラウンドスケープからの発想により世代別の東川ライフとその生活実現のための空間デザインやネイチャーマネジメント企画提案▼他の４大学を含め短い時間でいろいろな提案がだされ、参考により良い町にしたい。